

紫式部ゆかりの地

社寺・施設	所在地	内 容	京都駅からのアクセス
大徳寺真珠庵（非公開）	北区紫野大徳寺町	産湯の井戸。この辺りで出生し、幼少期を過ごしたと伝わる。	市バス206（A3） 「大徳寺前」
廬山寺	上京区寺町通広小路上る	紫式部邸宅跡で源氏物語はここで執筆されたとされている。桔梗の庭として知られる源氏の庭、式部と娘の大式三位（だいにさんみ）歌碑、玄関には紫式部像がある。	市バス4・7・205（A2） 「府立医大病院前」
つちみかど でんあと 土御門殿跡	上京区京都御苑内 （迎賓館南辺り）	藤原道長の邸宅・土御門殿の跡。 紫式部は道長の娘・彰子（しょうし）に出仕していた。	市バス4・7・205（A2） 「府立医大病院前」
びわ でんあと 枇杷殿跡	上京区京都御苑内 （梅林辺り）	藤原道長の邸宅・枇杷殿の跡。出仕している彰子が土御門殿から移った。 紫式部が清少納言と才を競ったのもこの屋敷と云われる。	市バス4・7・205（A2） 「府立医大病院前」
片岡社（片山御子神社） （上賀茂神社境内摂社）	北区上賀茂本山339	上賀茂神社の第一摂社で、本殿祭礼の際はまずここに参ることになっている。紫式部もしばしば参拝し、「ほととぎす 声まつほどは 片岡の もりのしづくにたちやぬれまし」という歌を詠んだ。	市バス4（A2）「上賀茂神社前」
清水寺	東山区清水1丁目	長和3年(1014)、紫式部は彰子の病氣平癒を祈願し参籠した。	市バス206・106・86（D2） [五条坂] 
紫式部の墓所	北区紫野西御所田町	小野篁の墓と並んでいる。	市バス9（B1）「堀川鞍馬口」
いんじょうじ せんぼん どう 引接寺（千本系んま堂）	上京区千本通廬山寺上る	至徳3年（1386）建立の十重の石塔は式部の供養塔と云われている。	市バス206（A3）「千本鞍馬口」
大徳寺大慈院（非公開）	北区紫野大徳寺町	寛政7年（1795）建立の顕彰碑。（顕彰碑とは個人の著名でない功績や善行などを称えて、広く世間に知らしめるために建てられる石碑などのこと）	市バス206番（A3）[大徳寺前]
浮舟ひろば	宇治市宇治橋西詰	紫式部石像。源氏物語宇治十帖を書いたことにちなんで設置されている。	JR奈良線「宇治」下車徒歩10分

ウラに続きます 【ご案内】 マークは観光特急バスEX100・101も利用できます

- 土・休日に運行
- 前乗り・運賃先払い（大人500円）
- 京都駅前D1のりばからノンストップで五条坂へ
- 地下鉄バス1日券、修学旅行1dayチケットが使えます

紫式部ゆかりの地

社寺・施設	所在地	内 容	京都駅からのアクセス
京都文化博物館	中京区高倉通三条上る	紫式部乾漆像。2階エスカレーター横に設置。	地下鉄烏丸線「烏丸御池」
小倉百人一首文芸苑	右京区 嵯峨二尊院門前長神町	落柿舎から少し北に行った左手の「長神（ちょうじん）の杜」に小倉百人一首に載っている紫式部の歌碑がある。 「めぐり逢ひて 見しやそれとも わかぬ間に 雲隠れにし 夜半の月かな」	市バス28（C6）「嵯峨釈迦堂前」 下車徒歩8分 JR嵯峨野線「嵯峨嵐山」下車徒歩18分